

小学校 1年 国語科

考える
表す

× 話す・聞く

育成したい
国語力

「わけ」を明らかにしながら、話したり聞き取ったりする。
自分の考えを相手に伝えたり、相手が伝えたいことを聞き取ったりする。

単元名

「いろいろなじゃんけんについてはなしあおう」

本時の目標

インドネシアのじゃんけんについて、勝ち負けの理由を話し合い、読み取ったことを確かめる。
(読む能力)

国語力育成の視点

日本のじゃんけんの関係をインドネシアのじゃんけんの関係に当てはめて考えて、勝ち負けの関係を理解し、自分が気付いたことを整理して相手に伝えます。正確に誤解なく伝えるためには、どのようにすればいいのかを考察して話すよう心がけます。聞き手も、話し手の意図を思い描いて、しっかりと聞き取るようにします。聞き手も話し手も「なぜ」を考えて、理解し合うことを目指し、考える力や表す力を育成します。

単元の流れ

第1次

- ・じゃんけんの経験について話し合う。
- ・全文を読む。

第2次

- ・じゃんけんの勝ち負けのしくみを理解する。

第3次(本時)

- ・「てびき」にそって学習する。
- ・インドネシアのじゃんけんを理解する。

第4次

- ・自分たちのじゃんけんを作る。

視点①

「わけ」を明らかにして、文章の内容で理解したことを確認します。ここでは、日本のじゃんけんの関係について知っていることを確認をします。

視点②

「わけ」を明らかにしながら、話したり聞き取ったりすることの定着を図ります。身近な事柄を関連付け、順序を考えて話し、聞いた内容から、話し手が伝えたいことの大体を思い描くことを行ないます。

視点③

聞いた内容から気付いたり、問いをもちながら聞いたことを確認します。また、思い描いたこと、予想したことを話します。

導入

前時の確認をし、本時のめあてを知る。

めあて：
じゃんけんのかちまけのしくみや、そのわけはなしあおう。

展開

インドネシアのじゃんけんについて、勝ち負けの関係を読み取る。

インドネシアのじゃんけんについて、勝ち負けの理由をペアで話し合う。

勝ち負けの関係について発表する。

- ・人・アリ・ゾウの関係を整理して、「勝ち負けのきまり」を分かりやすく説明する。
- ・日本のじゃんけんの関係を使って、インドネシアのじゃんけんについて理解を深め、順序よく説明する。

まとめ

本時の振り返りをする。



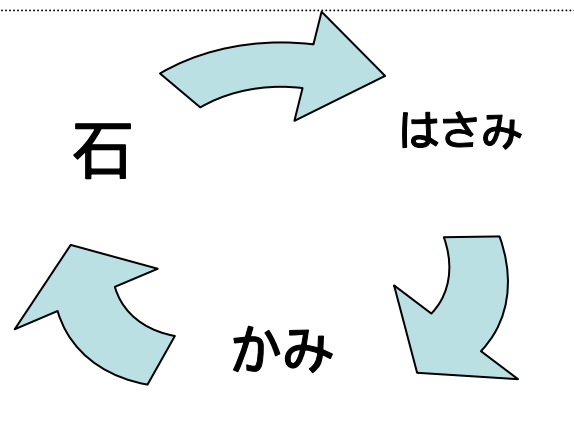
インドネシアのじゃんけん(人)

補足資料(てびき)

日本のじゃんけんの関係

かみ・はさみ・石

- ・()と()と()でじゃんけんをします。
- ・()は()にかちます。
- ・なぜ、()は()にかつのですか。
- ・()は()からです。

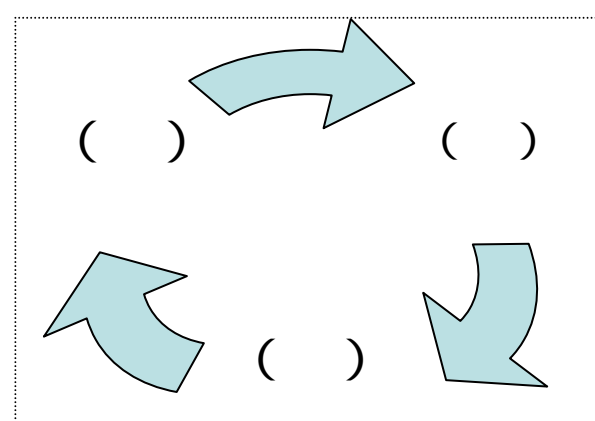


日本のじゃんけんの関係

インドネシアのじゃんけんの関係

人・あり・ぞう

- ・()と()と()でじゃんけんをします。
- ・()は()にかちます。
- ・なぜ、()は()にかつのですか。
- ・()は()からです。



インドネシアのじゃんけんの関係